ふるさと納税で「スペチャレ」を応援してください。

下記の「ポータルサイト」から お申し込みいただけます。

寄附金の使い道をお選びいただく際に、

スペシャルチャレンジに関する事業をご指定ください。



さとふる 雲南

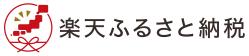
検索



ふるさと納税総合サイト

ふるさとチョイス 雲南





楽天ふるさと納税 雲南



税制上の優遇措置

個人の場合

法人の場合

ふるさと納税制度により、寄附金(ふるさと納税)額のうち、 2,000円を超える額について、一定の限度額まで所得税と 個人住民税から全額控除できます。

従来の軽減措置に加え、企業版ふるさと納税の場合は さらに寄附金額の最大3割、税控除を受けることができ

「銀行振込」「郵便振替」などでのお申し込みや、ふるさと納税以外の方法でもご寄附いただ けます。下記のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。



スペチャレを応援してくださっている「スペチャレ」スポンサー











コカ・コーラボトラーズジャパン 株式会社

メトロ電気工業株式会社

株式会社

株式会社

お問い合わせ



雲南市役所 政策企画部 政策推進課 〒699-1392 島根県雲南市木次町里方521-1

Tel 0854-40-1011 (受付時間平日8:30~17:15)

Mail seisakusuishin@city.unnan.shimane.jp



スペチャレについて詳しくは

http://www.co-unnan.jp/special/

雲南 スペチャレ







雲南スペシャルチャレンジ 2019年度報告書



∖スペチャレ2年目! /

雲南の未来をひらく37組の スペシャルチャレンジ!

「雲南スペシャルチャレンジ」は、雲南市の未来のため にさまざまな課題にチャレンジする若者を中高生向け のジュニア、大学生向けのユース、若者向けのホープ として研修や留学、起業創業をサポートするしくみで す。2019年度は、ふるさと納税やスペチャレスポン サーの皆さまからのご寄附により前期・後期合わせて 37組がチャレンジしました。





中高生向け

スペチャレ・ジュニア チャレンジ精神を養う国内・海外研修



スペチャレ・ユース



若者向け

スペチャレ・ホープ

地域に必要な仕事を生み出す起業創業

2期生前期







小さなチャレンジにあふれるまち

チャレンジホームステイ



森 日陽理さん 三刀屋高校2年

アメリカに行くまで、自分のシャイな性格がアメリカ人の様に自信のある 性格に変わっていく姿を多くの人に伝えて雲南市を「小さなチャレンジに あふれるまち」にしたいと思っていました。しかし、アメリカでの体験から 「自分を出せる環境をつくりたい」という気持ちに変わりました。アメリカ 人と関わる中で、彼らは思い込みや決めつけをしない、周りを気にしない と感じました。夫婦同士が名前で呼び合う姿は、身分や肩書きに関係なく 個人をみている平等さを感じました。まずは学校の中で一人ひとりが自分 を出せる環境を作りたいと思います。

"したい"から"できる"社会へ 韓国短期留学プログラム



灰 菅田 実玖さん 三刀屋高校2年

韓国の高校へ行き日本語の授業を見て、日本のことが好きで、日本語を学 びたいと思っている人がたくさんいると知り、私はいつかこの国で日本語 のおもしろさ、良さを伝えられる日本語教師になりたいという夢が強くな りました。また、勇気を出してチャレンジすることの大切さを学びました。こ の体験を外国に行きたいけど悩んでいる人や、今、夢や希望のない人に 伝えたいです。私が韓国に行って夢が強くなったように、夢を見つけるきっ かけになると思います。"したい"と思っている人が"できる"に変えられるよ うに私がサポートしたいです。

世界共通!多文化共生!



🎢 坪倉 茜さん 三刀屋高校2年

時期が時期だったので韓国に行くのは少し不安でしたが、行ってみるとい ろんな人がサポートしてくれて人の温かさがよく分かりました。韓国で仲良 くなった子は、日本のことに対してデモをしているところを見せないように してくれたり、日本のことが書かれているポスターを隠してくれました。自 分がしてもらってうれしかったので、私も雲南市や日本に来る外国人の方 に困っている方がいたら、助けたり、話しかけたりしようと思います。自分 にとって良い影響を与えてくれた留学にも、この機会を与えてくれたスペ チャレ制度にも感謝したいです。

日韓のきずなを深めよう

日韓ワークキャンプ~国境を越えた友達をつくろう~





チャレンジ前の私は人見知りで、人の目を気にして素の自分を出していま せんでした。そうすれば嫌われることもないと思っていました。でも、韓国 の人の自分の思った事を素直に言葉にしているのを見てかっこいいと 思ったし、私もそんな自分になりたいと思いました。韓国から帰ってきて、 学校の先生に「前よりよくしゃべるようになった」と言われました。少しびっ くりしたけど、前の自分と変われた気がしてうれしかったです。このキャン プで経験した事を幸雲南塾の場などで伝えて韓国のことを発信していき

日韓関係をよりよく

日韓ワークキャンプ~国境を越えた友達をつくろう~



堀内 凛音さん 大東中学校3年



韓国ワークキャンプはスタッフも含め30人で活動しました。日本人と韓国 人で一緒に泊まり、10日間生活することでみんなの良いところが見えたり 仲が深まって、本当の家族のような存在になりました。悩みを聞いてもらっ て、自分の良さを見つけられたり自分のためになることが沢山ありまし た。ワーク中は地域の方から差し入れをもらうなど支えていただき活動を 行うことができました。韓国の人は思っていたよりもすごく親切で優しい人 が多かったです。この韓国で実際に学んできたことを多くの人に伝えて、 良さを知ってもらいたいです。

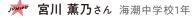
島根と世界をつなげたい!



🎤 土江 亮さん 松江工業高等専門学校2年

オーストラリアでは、多くの人種が集まり自然に生活されていて、日本では できない体験ができてとても新鮮でした。このような雰囲気、姿勢は、今後 の日本でも見習うべき点だと感じました。現地へ行くと日本の知名度は想 像以上に高かった一方、東京や大阪以外の地方まで訪れる人は少なかっ たです。帰国後は、世界中の人に島根や雲南に来てほしいと強く思い、動 画を作りYouTubeアップしました。一人でできることは小さいかもしれま せんが、誰かに発信したいという強い気持ちがあれば誰にでもできるとい うことを伝えたいと思います。

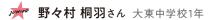
自分の言葉でまとめ伝えたい! プラチナ未来人財育成塾@二子玉川





チャレンジを通して、自分の言いたいことをはっきりさせること、周りの人 の考えを知って自分の考えと比べて理解すること、人のいいところをまね することを学び、自分の言葉でまとめることが前よりも上手にできるように なりました。そして、伝えるためには勇気が必要になります。今まで、私は失 敗してはダメだと決めつけていました。ですが、失敗すれば新しいことを学 べます。間違えても間違えたことが自分のこれからにつながります。これか らは、勇気と挑戦する心を持って、日々、自分の言葉で相手に伝えることを 頑張りたいです。

夢の一歩を東京で プラチナ未来人財育成塾@二子玉川



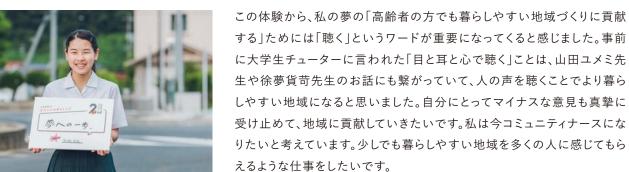


一番心に残った講義は、宇宙飛行士の若田光一さんの講義です。リーダー にとって大切なことを宇宙へ行った時のことや宇宙飛行士になるまでの 体験談を交えて話してくださいました。好きなマンガ「宇宙兄弟」について の質問にも、笑って答えてくださいました。第一線で活躍しておられる人で も高い目標をもっていらっしゃったので、リーダーには意識を高くもつこと も大切だと思いました。プラチナ未来人財育成塾に行ってできた友だちと 別れるのがさみしかったですが、今回学んだ事を忘れずに頑張っていきた いです。

夢への一歩 プラチナ未来人財育成塾@二子玉川



多々納 実紀さん 吉田中学校3年



自分を変える プラチナ未来人財育成塾@二子玉川

須山 優楠さん 三刀屋中学校2年



チャレンジをする前に二つ達成したいことがありました。一つ目は「自分の 考えを持って、その考えを発表できるようにしたい」です。これは達成でき たと思います。二つ目は「自分の知識を広げたい」です。これは、これから 講師の方のお話を思い出しながらいろんなことをやっていく中で意識し たいです。講師の方の話の中で「答えは一つではない」という言葉が印象 的でした。数学などでは答えは一つと決まっているけど、意見や案などは 答えは一つとは限らないと思うので「答えを一つではない」という言葉を 意識してこれから過ごしたいです。

可能性は無限大



▶ 陶山 結斗さん 木次中学校1年

この活動を通して「信頼の大切さ」と「多様性を理解すること」を学びまし た。信頼が失われると本当のことを信じてもらえなかったり、友達が減った り、デメリットばかり。信頼があるからこそ、友達や先生、家族などとつな がっていると思います。また、世界にはいろいろな人がいていろいろな考 えや文化があります。軽蔑したり、笑ったりせず、それを理解することや何 か理由があるかもしれないと考える事が重要だと思いました。この学びを 普段の生活の中で生かし、それを他の人に伝えることでみんなにもわかっ てもらえると思います。

掛合をふるさとにしたい!



🎢 川合 佑汰さん 東北芸術工科大学2年

掛合地区で活動し、体感したことは「たくさんの失敗」と「掛合の方の支 え」です。その過程で掛合地区の皆さんと、深く広く関係を紡ぐことができ たと思います。掛合の方との関係ができた結果として、掛合イイトコ発見プ ロジェクトや、地区全戸配布の掛合自治振興会が発行の防災パンフレット のデザインなど掛合の方と「協働」して一つのものを作ることができまし た。この一年で特別なことができたわけではないですが、今後とも継続的 に雲南、そして掛合に関わり続け、この地域に大きな成果を生み出してい ければと思っています。

みんなの想いをみんなで応援する社会を作る



澤村 脩さん 龍谷大学4回



コミュニティ財団のビジョン「まちの中でこぼれ落ちている小さな声を拾 い上げ、それを誰もが応援できる社会を実現する」に共感し、全国で最小 規模のコミュニティ財団の設立に注力してきました。その中で多くの方か らのアドバイスや応援があったからこそ、自分の掲げるビジョンである「み んなの想いをみんなで応援する社会を実現すること」が明確になりまし た。雲南での生活は楽しいや苦しいだけではない、様々な経験ができまし た。この経験を自信に変えて、将来雲南市の仕事ができるよう大きくなっ て帰ってきます!

雲南発 真のグローカル人材に!



● 田部 憲司さん 島根大学4年



留学前、雲南市にたくさん人が訪れ、地域が盛り上がるためにどうしたら いいのかとそればかり考えていました。今回の経験を通して、住んでいる 人たちの幸せ、生活という大切な視点に気づくことができました。トルンの 人は地域行事の準備、雰囲気づくりを大切にされていて、やらされ感では なく楽しみながら行っておられました。結果、商業化、観光客のためだけの 行事にもなっておらず、地元の人や観光客で賑わっているのが印象的で した。地元の人も観光客も幸せで満足のいく観光やイベントのあり方をこ の経験を活かして考えます。

You Only Live Once セブ島留学&観光研究事業



→ 高野 愛さん 島根県立大学2年



留学前の雲南市観光地巡りは市内の魅力と課題を考えるいい機会とな り、留学後に行った留学生向けの雲南市案内でも自信をもって雲南市の 魅力を紹介することができました。また、雲南市を海外の人にも知ってもら えるようSNSを開設し、雲南市の観光情報を英語で発信しています。まだ フォロワー数は少ないですが多くの人に雲南市を知ってもらえるよう引き 続き更新していきます。私は今回の活動を通して、何かにチャレンジするこ とへの恐怖心が無くなりました。一度きりの人生、これからもっと新たなこ とにチャレンジし、成長していきたいです。

GLOBALとLOCAL 両方の視点で雲南市を支える!



上代 奈穂さん 同志社大学2回



留学先は雲南とは何もかも違い、最初は圧倒されましたが、次第に雲南な らではの良さや、違いを見つけられ、互いの地域を客観視して見られるよ うになりました。活動中は、自分の英語の未熟さを痛感しました。ホスト ファミリー等、私が伝えようとしていることを必死に理解しようとしたり、簡 単に説明してくれたおかげで英語を話すことの抵抗がなくなり、積極的に 異文化コミュニケーションを取れるようになりました。この経験をもとに、 様々なボランティアに参加して、その活動を通して、海外の方たちと触れ 合っていけるように頑張ります。

Unnanの魅力をつくりだす from 600 miles away



藤原 莉子さん 広島文教大学2年



今回の活動で、現地の方へインタビューを行ったところ、日本への観光 は、老若男女問わず需要があり、目的はそれぞれ異なることがわかりまし た。一方で、和の国というイメージが一人歩きしているため、私は日本の "Wa(和) = Japan, Japanese"というイメージを壊さないよう質のある観 光をめざし、発信していく必要があると思いました。今後は、外国人観光 客を対象に観光案内をしようと思います。SNS媒体を使用し、日本(島根、 広島)の観光を広め、ゆくゆくは個人でツアーガイドを始めたいと考えて います。

たくさんの幸せな瞬間をプロデュースする



🎢 藤井 寛幸さん 株式会社Community Care



県内初の作業療法士による健康経営モデルづくり「企業版・暮らしのリハ 室」がスタートしました。企業の健康課題を解消して、職員が働き続けるた めのしくみを開発し運用していくことは、社会全体の命題であるといえま す。スタートアップとして市内企業に協力していただき、働く現場を分析し ながら、腰痛・膝痛の生じる場面での解消法や身体のケアの方法を指導 しました。多くの方が痛みが減少し、アンケート調査で満足しているという 声をいただきました。今後は正式に導入してもらえる様に試行錯誤してい きます。

2期生後期

🊁 ジュニア 16組 🌟 ホープ 3組



雲南市の魅力を発信! 情報誌発行プロジェクト



藤原 里紗さん 加藤 志歩さん 加武 美咲さん

小山 亜美さん 奥野 凜さん

西村 元葵さん 佐藤 有華さん 岡田 結菜さん 池田 汐莉さん

勝部 充さん

大東高校1年 三刀屋高校1年 三刀屋高校1年 三刀屋高校1年 三刀屋高校1年 三刀屋高校2年 三刀屋高校2年

大東高校2年 大東高校2年 大東高校1年

プロジェクトを通じて仲間の大切さや主体的に行動して学ぼうとするこ との大切さを実感しました。高校生が主体となってゼロから何かを立ち 上げることの難しさやプロジェクトを進めるなかでぶつかったたくさんの 壁も、地域の方はもちろん家族などの助けがあって乗り越えることがで きました。これまでなかなか気づけていなかった雲南の良さにも気づけ たと思います。この経験を私たちが色々な人に伝えながら、少しでも多く の高校生に"何かしてみたい"と思ってもらえるよう今後も活動を続けて いきます。

出雲神楽再興戦術~伝統を守るために~



小田 瑞貴さん 三刀屋高校3年



このプロジェクトに関わってくださったみなさんに心からお礼を伝えた いです。それは、いつも僕の思いを聞いてくれてプロジェクトの実現に 向けて一緒に汗を流してくれたからです。諦めそうになった時、神楽や 地域を何とかしたいという思いをもって本気で活動されている人に出会 えたからこそ、最後まで頑張ることもできたし、多くの舞台に立たせても らうこともできました。同じような思いを持つ後輩もおられるので、大学 に進学してからも何かしらの形でプロジェクトを継続していきたいと思 います。

コロナで断念せざるを得なかったチャレンジプラン

以下のチャレンジはコロナの影響により研修などが行えず完結には至りませんでしたので計画のみご紹介します。



チャレンジをもっと身近に

ル 山根 光博さん 三刀屋高校2年

放課後のサードプレイス創出プロジェクト

私が苦しい時に救ってくれたのは友達の存在とその友達が作ってくれた場所だった。その時に 誰でも気軽に利用でき、誰かに何かを相談できる場所を作ろうと決心した。私の気持ちを詰め て出来たチャレンジラボをもっといい場所にしたい、もっといろんな生徒に知ってほしい。



DIVING~マイノリティが自分らしくいられる場所~ LGBTQプロジェクト

松田 一花さん 三刀屋高校1年

自分のプロジェクトの実現のために、まず雲南市から「本当の意味での理解」ができる機会づく りをしていくことにした。今となりにいる人と分かり合い共存するためにはどうすべきか、出来る だけ多くの人に考えてほしいと思っている。



DIVING~マイノリティが自分らしくいられる場所~

LGBTQプロジェクト

🎢 梨岡 華さん 三刀屋高校1年

みんなが自分らしく生きられる社会の実現に向けたきっかけづくりとして、社会的マイノリティー について知ることのできる場所を作りたいと思っている。LGBTやマイノリティーについて知ら ないまま否定する人や理解されずに苦しむ人を少しでも減らしたいと思っている。



地域を元気に!シモクマダニープロジェクト 下熊谷プロジェクト

地域フィールドワークで下熊谷地区のキャラクターを作ったが、キャラクターだけでは少し寂し いと思い、グッズ制作を考えた。下熊谷地区は子どもの数が多く、地域活動に参加する人も多 いため、このプロジェクトを通して地域に元気をさらに増やしていきたい。



地域を元気に!シモクマダニープロジェクト 下熊谷プロジェクト



🎢 小山 颯翔さん 大東高校1年

地域フィールドワークで行ったイベントで子どもたちがすごく楽しそうにしているのを見て、もっ と楽しませることができるのではと思いこのチャレンジをしようと思った。グッズ販売などにより 木次線を使う人を増やし、木次線の廃止を止めたい。



地域を元気に!シモクマダニープロジェクト

☞ 橋本 治樹さん 大東高校1年

私は2019年の7月頃から木次線のフォトコンテストポスターをグループで考えるなどの木次線 活性化に関する活動に参加してきた。木次線の活性化は地域の活性化にもつながっていくた め、自分の出来ることを全力で行っていく。



地域を元気に!シモクマダニープロジェクト A 板士郎さん 大東高校1年 下熊谷プロジェクト

私は地域フィールドワークには参加していないが、他のメンバーに誘われ、地域の元気を増やし ていくことに共感し、参加した。積極的に会話に参加し、意見を言うことができる長所を生かして このチャレンジを盛り上げていきたい。



地域を元気に!シモクマダニープロジェクト

常盤 実沙さん 大東高校1年

下熊谷プロジェクト

子どもたちを育むための地域行事が盛んな下熊谷地区が将来もこのまま子どもたちのいる素 敵な町であり続けてほしいと思いこのチャレンジをする。地域のボランティアや行事に積極的 に参加して、地域の人たちの声を聞いてきた経験を生かし、より良いプロジェクトにしていく。



地域を元気に!シモクマダニープロジェクト 下熊谷プロジェクト

青木 花歩さん 大東高校1年

私はシモクマ・ダニーの原案を作りました。下熊谷地区の方達が地域を好きな気持ちが地域 フィールドワークの中で分かったため、私自身、下熊谷地区やシモクマ・ダニーへの想いが強く なった。常により良いものを求めて活動していく。



地域を元気に!シモクマダニープロジェクト

→ 白根 大地さん 大東高校1年

地域フィールドワークの中で下熊谷地区の子どもたちが元気いっぱいで、老若男女の方々が積 極的に参加しており、下熊谷地区に魅力を感じた。このチャレンジを通して色んな人にこの地区 を知ってもらい、この地区をきっかけに雲南市全体が元気になっていってほしい。



For ALS Patients

灰 三浦 琴真さん 三刀屋高校2年

ALS患者を元気にするプロジェクト

山口の難病シンポジウムに参加したことで、ALS患者さんとだけでなく、PLS患者さんやその他

の難病の方と関わることができ、ALS患者さんだけの為に活動を行うのではなく、その他の難 病患者さんも支援できる活動を行っていきたいと思う。



負の歴史から繋がる今

『 錦織 もえさん 大東中学校3年

オンラインの勉強会等に参加し、反ユダヤ主義は昔からあり、キリスト教国には深く根付いてい ることを知った。また、日本についても調べ、戦時中は虐殺や非人道的なことをしていたことや、 国によって戦争に対する意識にギャップなどがあることなども分かった。



COSMOSプロジェクト

カナダ短期留学

佐藤 有華さん 三刀屋高校1年

夏の留学へ変更し、プロジェクトに協力してくれる仲間を見つけたり、雲南市の魅力を再確認す る活動を行った。雲南市には良いスポットや高齢化、観光面での課題が多くあることが分かっ た。これからは多文化共生を基礎にこの問題を解決する活動を行っていきたい。



外国人が利用しやすい病院へ

🎢 神田 亜門さん・秦 美貴さん 三刀屋高校2年

マスキングテープ開発プロジェクト

マスキングテープをつくるための事前調査を行った。オンラインでの幸雲南塾では、海外で生 活したことがある方の留学先で困ったことなどを聞き、学びを深めた。雲南市内の病院が外国 人の利用しやすい医療機関となるよう、引き続き真剣に活動したい。

雲南市発アウトドアブランドを創る! 体験型観光業(魅力的な田舎)の確立



「アウトドアビジネスを通じて地域を盛り上げたい」という想いでオリジナルテントの制作及びEGキャンプ場を活用した会員事業計画を開始しました。テントについては、設営撤収が楽に好きな色が選べる日本製テントを制作しています。クラウドファンディングを通じてお披露目できるよう準備を進めています。また会員事業については、アウトドア好きな会員同士がゆるく繋がり、EGキャンプ場含むアウトドア事業で報酬を得られるようにしたいと考えています。本プロジェクトを通じて「魅力的な田舎」雲南市をめざします。

🥍 永瀬 敬三さん・中澤 太輔さん・津田 未貴さん 合同会社Easy Go Japan





ア そん さんひょんさん さんひょん合同会社

私は会社の設立、ECサイト制作、地域自主組織IT化の3つの活動を進めています。外国人が一人で起業することは大変でした。ECサイトの運営については、4月に β 版リリースし、期間中に集めた商品を県外へ販路開拓をします。地域自主組織のIT化については、地域へのヒアリング、座談会に参加し、ITツールの使い方の説明とビジョンを語りました。課題は山積みなので乗り越えることを思うとワクワクしています。これからの目標は地域自主組織と学校へのIT導入、市内商品の県外での販路開拓を行うことです。



16.かんプロモーショ`



10

キャリアデザインの拠点を木次の街の中に作るため、設計や地域の方との関係づくりを進めました。その中で様々な課題が出ましたが、何度も協議を重ね、一つずつ解決へ向けて進めました。新たな形での拠点作りをしていく必要が出てきたため、改めて調査を開始し、大学生や高校生へのヒアリングを通じて、様々な気づきや新たな課題を知ることができました。それと同時に、キャリアデザインを支援する価値も改めて感じています。新たな拠点の在り方について、多くの方の意見を聞き、より成果の高い形で実現できるよう取り組みます。

スペチャレ2年目はこんな感じでした!

∖ 2019年度の流れとまとめ /

~2019年3月 みんなで制度検討



まちの未来のために、どんな「スペチャレ」にするか、現行制度の課題点や見直し等を 多様な関係者で何度も議論を重ねました。

2019年7月 2期生前期のチャレンジがスタート!



いよいよ、2期生前期18組の チャレンジがスタート。サポートする事務局スタッフの伴走 支援も始まりました。

2020年3月 チャレンジ報告会



学びや実践の成果を発表。次期にエントリーを目指す学生・若者が参加し、グループディスカッションなどで今後のチャレンジについて語り合いました。

中学生・高校生も プレゼン!

2019年6月 2期生の審査会



プレゼンテーションや審査員 との個別面談を行い、チャレ ンジプランのブラッシュアップ を行いました。

2019年12月 2期生後期のチャレンジがスタート!



2期生後期として19組が新た にチャレンジを開始!2期生は 総勢37組となり、切磋琢磨し 合いました。

まちの未来をひらくチャレンジがさらに広がるよう雲南市みんなで挑戦していきます!



雲南

2年目となる雲南スペシャルチャレンジは、たくさんのチャレンジが生まれました。特に、ジュニアについては、1期生で参加した先輩の姿に憧れて参加した生徒もいました。ユースについては、1期生で参加した学生が、2期生のサポートを行ったり、市の事業に積極的に関わったりするなど、チャレンジの連鎖が生まれています。コロナ感染症拡大の影響を受け、思うように活動できないチャレンジャーもいましたが、オンラインへ切り替えて活動するなど、創意工夫を行いながら取り組みを進めてきました。意欲的に継続して取り組んでいるチャレンジャーもいますので、ぜひ引き続き応援をいただきますようよろしくお願いします。

2019年度事業の実績

補助金交付額 区分 対象者 スペチャレ・ジュニア 中高生 1,646,000円 27組 妕 スペチャレ・ユース 1,854,000円 大学生 6組 丼 スペチャレ・ホープ 若者 3,000,000円 37組 6,500,000円

皆さまからご支援いただいた寄附額(2020年3月末)

区分	寄附件数	寄附総額
ふるさと納税	2,566件	- 62,165,179 _円
企業寄附	6件	

11